

## 4. 河川整備基本方針について

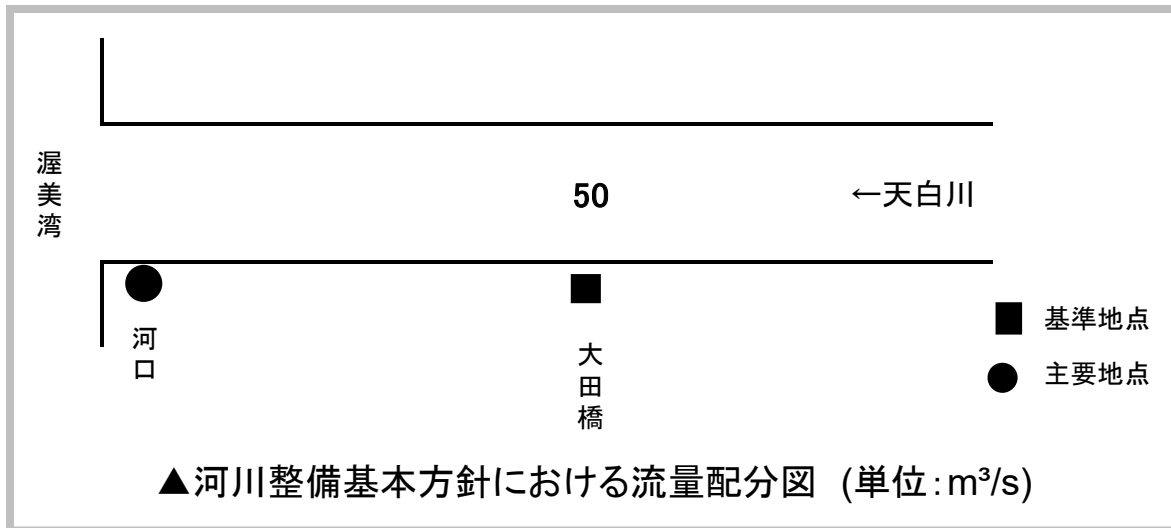
■ 河川整備基本方針(※現在検討中)

• 基本高水流量

天白川の基本高水流量は基準地点の大田橋(3k191)において50m<sup>3</sup>/sとする。

• 洪水防御方式

河道改修案や遊水地案、放水路案等による洪水防御方式を比較検討した結果、天白川においては最も経済的な河道改修案を採用することとした(基本高水=計画高水)。



※高水流量算定の条件

(後述する「5.計画高水流量の検討」に記載する条件と同一。計画降雨の規模のみ年超過確率1/30としている。)

・流出計算モデル: 合理式

・計画降雨: 愛知県の確率降雨(H18.1)の豊橋地区を採用。

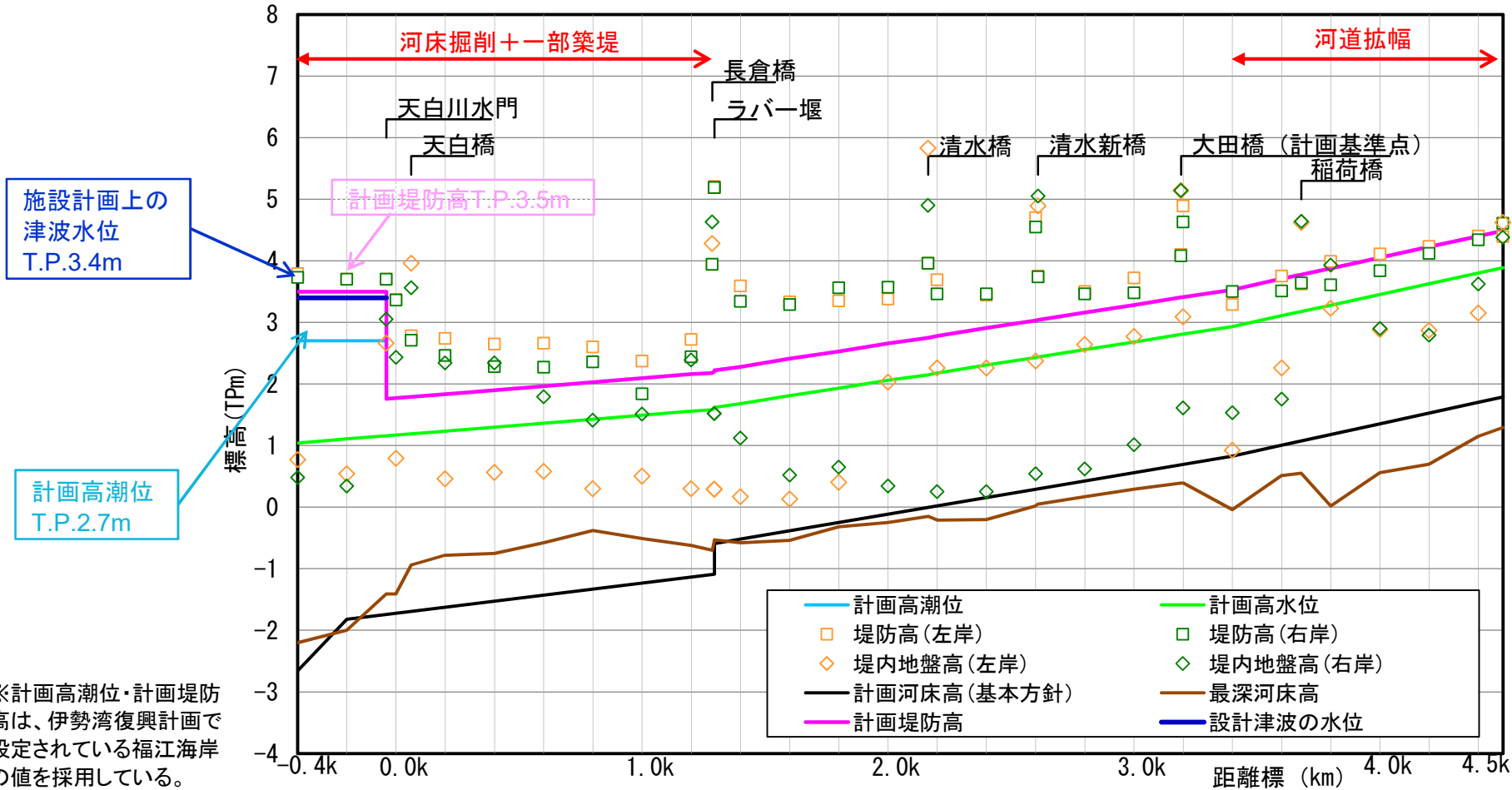
(洪水到達時間60分における降雨強度: 72.4mm/hr)

■ 河川整備基本方針(※現在検討中)

• 縦断計画

流下能力が不足する河口から1.285k (ラバー堰) 区間は河床掘削により河積の拡大を図る。

また、3.4kより上流の区間についても流下能力が不足するため、河道拡幅を行う。



※計画高潮位・計画堤防高は、伊勢湾復興計画で設定されている福江海岸の値を採用している。

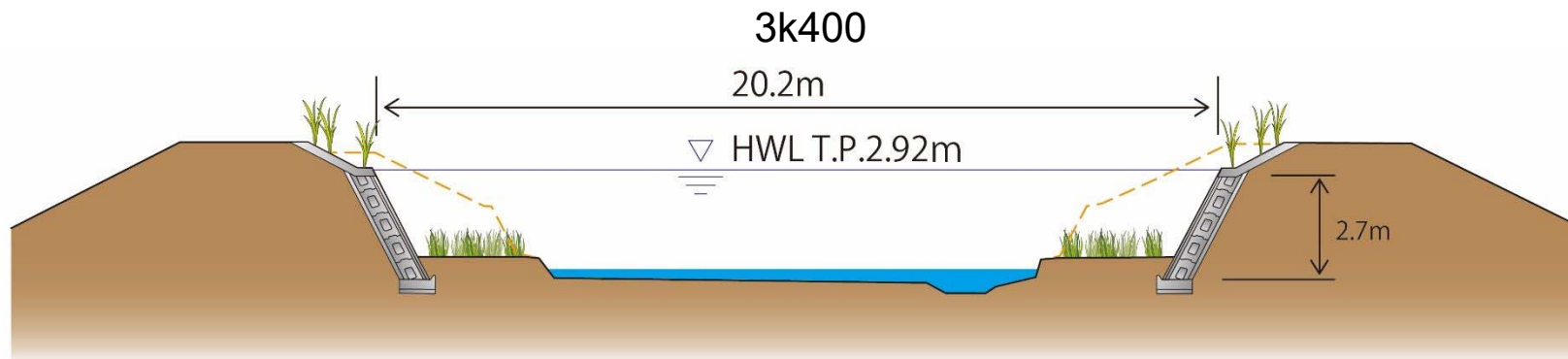
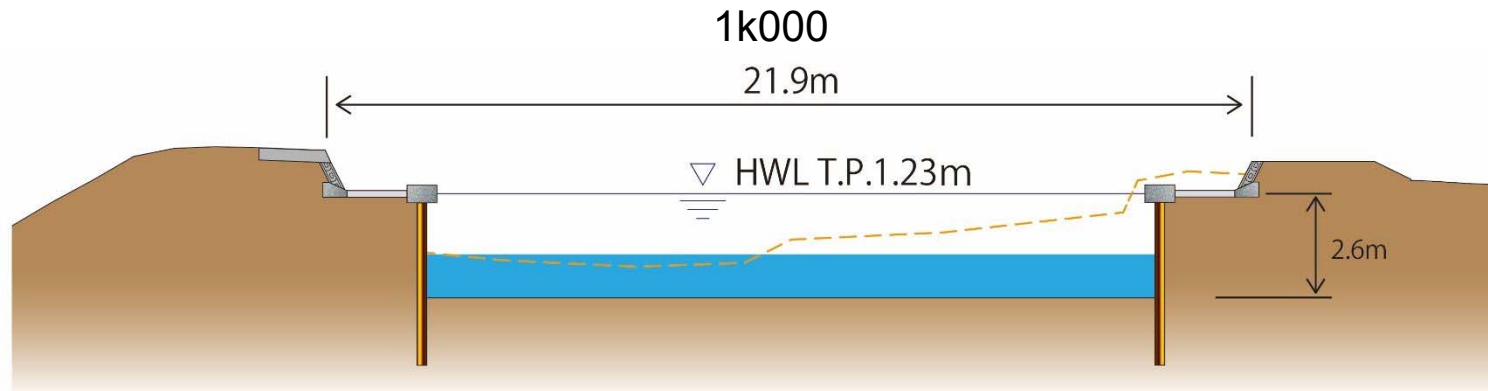
▲河川整備基本方針 主要地点の計画横断形状

■ 河川整備基本方針（※現在検討中）

• 横断計画

河道改修のイメージ横断面図を以下に示す。

1.0k付近の右岸については、堤防高が不足するため、河床掘削に加えて築堤も行う。



▲河川整備基本方針 主要地点の計画横断形状